

LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

第120期	決算日	2018年10月15日
第121期	決算日	2018年11月13日
第122期	決算日	2018年12月13日
第123期	決算日	2019年1月15日
第124期	決算日	2019年2月13日
第125期	決算日	2019年3月13日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：
レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル国債ファンド（毎月分配型）」は、2019年3月13日に第125期の決算を行いましたので、第120期、第121期、第122期、第123期、第124期、第125期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		騰落率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税金	み				
	円	分	金	%	%	%	百万円
96期(2016年10月13日)	4,762		35	7.7	96.5	—	53,744
97期(2016年11月14日)	4,494		35	△ 4.9	95.0	—	50,410
98期(2016年12月13日)	4,946		35	10.8	95.1	—	55,601
99期(2017年1月13日)	5,310		35	8.1	99.3	—	58,846
100期(2017年2月13日)	5,455		35	3.4	98.6	—	59,630
101期(2017年3月13日)	5,486		35	1.2	97.6	—	60,049
102期(2017年4月13日)	5,248		35	△ 3.7	96.8	—	58,561
103期(2017年5月15日)	5,505		35	5.6	96.0	—	62,203
104期(2017年6月13日)	4,958		35	△ 9.3	95.5	—	56,641
105期(2017年7月13日)	5,338		35	8.4	99.6	—	60,860
106期(2017年8月14日)	5,224		35	△ 1.5	98.9	—	58,105
107期(2017年9月13日)	5,409		35	4.2	97.8	—	59,629
108期(2017年10月13日)	5,439		35	1.2	97.1	—	58,816
109期(2017年11月13日)	5,279		35	△ 2.3	96.2	—	56,317
110期(2017年12月13日)	5,216		35	△ 0.5	95.4	—	55,337
111期(2018年1月15日)	5,332		35	2.9	99.1	—	56,128
112期(2018年2月13日)	5,061		35	△ 4.4	98.4	—	52,372
113期(2018年3月13日)	5,063		35	0.7	97.7	—	52,264
114期(2018年4月13日)	4,889		35	△ 2.7	97.0	—	49,811
115期(2018年5月14日)	4,678		35	△ 3.6	96.1	—	46,829
116期(2018年6月13日)	4,452		35	△ 4.1	95.6	—	44,168
117期(2018年7月13日)	4,366		35	△ 1.1	100.0	—	43,217
118期(2018年8月13日)	4,280		35	△ 1.2	98.6	—	42,927
119期(2018年9月13日)	3,981		35	△ 6.2	97.6	—	40,484
120期(2018年10月15日)	4,457		35	12.8	97.0	—	45,413
121期(2018年11月13日)	4,557		35	3.0	96.0	—	44,505
122期(2018年12月13日)	4,462		35	△ 1.3	95.7	—	43,240
123期(2019年1月15日)	4,471		35	1.0	98.7	—	44,845
124期(2019年2月13日)	4,540		35	2.3	98.6	—	45,201
125期(2019年3月13日)	4,449		35	△ 1.2	97.9	—	44,053

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第120期	(期 首) 2018年9月13日	円 3,981	% —		% 97.6	% —
	9月末	4,234	6.4		97.5	—
	(期 末) 2018年10月15日	4,492	12.8		97.0	—
第121期	(期 首) 2018年10月15日	4,457	—		97.0	—
	10月末	4,655	4.4		97.5	—
	(期 末) 2018年11月13日	4,592	3.0		96.0	—
第122期	(期 首) 2018年11月13日	4,557	—		96.0	—
	11月末	4,478	△ 1.7		95.9	—
	(期 末) 2018年12月13日	4,497	△ 1.3		95.7	—
第123期	(期 首) 2018年12月13日	4,462	—		95.7	—
	12月末	4,377	△ 1.9		94.9	—
	(期 末) 2019年1月15日	4,506	1.0		98.7	—
第124期	(期 首) 2019年1月15日	4,471	—		98.7	—
	1月末	4,544	1.6		98.7	—
	(期 末) 2019年2月13日	4,575	2.3		98.6	—
第125期	(期 首) 2019年2月13日	4,540	—		98.6	—
	2月末	4,548	0.2		97.8	—
	(期 末) 2019年3月13日	4,484	△ 1.2		97.9	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

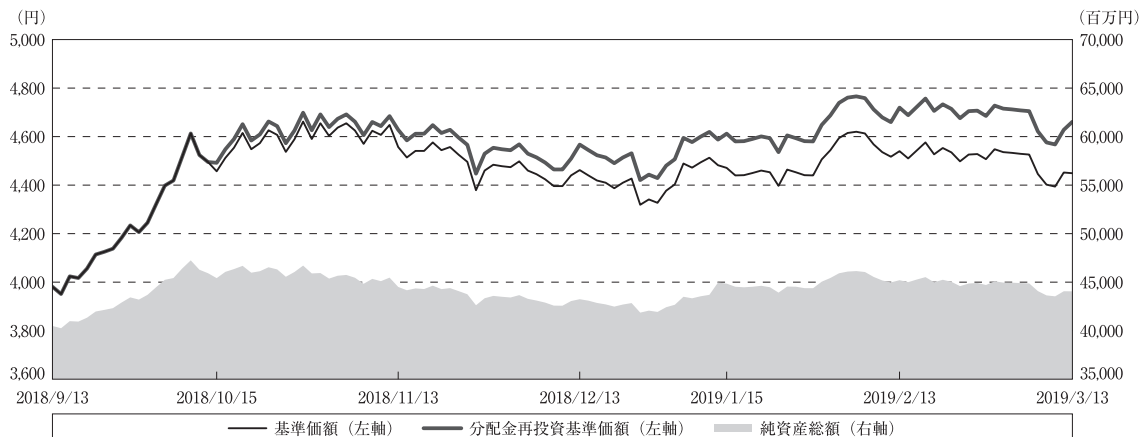
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年9月14日～2019年3月13日)



第120期首：3,981円

第125期末：4,449円 (既払分配金(税込み):210円)

騰落率：17.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年9月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期のパフォーマンス(騰落率)はプラス(分配金再投資ベース)となりました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。また、公社債損益がプラスとなったことに加え、ブラジルリアル高・円安を反映し為替損益もプラスとなりました。

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、米国の金利上昇による新興国市場への過度な警戒感が後退し、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなどから、利回りは低下しました。さらに、ブラジル大統領選で市場参加者が支持するボルソナロ氏が勝利したことが好感され、ブラジル資産への選好が強まったことも、利回りの低下要因となりました。

期の半ばは、ブラジル中央銀行（BCB）が2018年12月の金融政策委員会（COPOM）でインフレ見通しを下方修正し、ハト派的な姿勢を示したことを受け、利回りは低下しました。また、ボルソナロ新政権による年金改革への期待感が高まったことも利回りの低下につながりました。

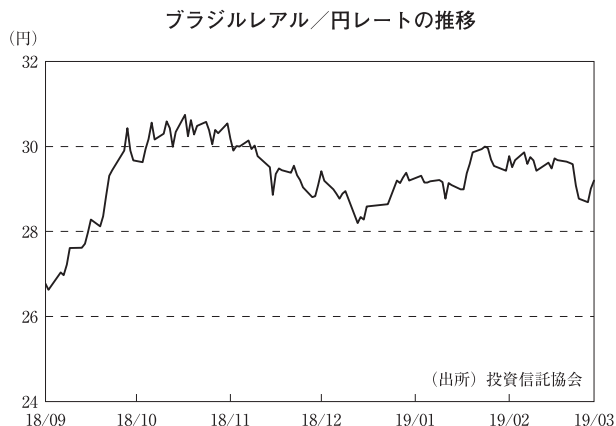
期の後半は、ボルソナロ政権が年金改革法案を議会に提出したことを好感して、利回りは低下しました。米国国債利回りが低下したことや、米中貿易協議の進展期待が強まったことも、利回りの低下につながりました。しかし、その後、年金改革法案の議会審議が難航するとの慎重な見方が広がり、利回りはやや上昇（価格は下落）しました。



当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

期の前半は、新興国市場への過度な警戒感が後退したことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。さらに、ブラジル大統領選でボルソナロ氏が勝利したことが好感され、リアル買いが強まりました。

期の半ばは、米中貿易摩擦への警戒感や世界的な株安などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、リアル安・円高となりました。BCBがハト派的な姿勢を示したこともリアル売りにつながりました。しかし、その後、世界的な株式市場の持ち直しなどから、リアルは対円で買い戻しが優勢となりました。



期の後半は、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、今後の利上げ休止を示唆する慎重姿勢が示されたことや、ブラジルの年金改革法案が議会に提出されたことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、年金改革法案の議会審議が難航するとの見方が広がり、リアルは上値が抑えられました。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年9月14日～2019年3月13日）

当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金

（2018年9月14日～2019年3月13日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
	2018年9月14日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月13日	2018年11月14日～ 2018年12月13日	2018年12月14日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月13日	2019年2月14日～ 2019年3月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	35 0.779%	35 0.762%	35 0.778%	35 0.777%	35 0.765%	35 0.781%
当期の収益	33	31	26	28	30	24
当期の収益以外	1	3	8	6	4	10
翌期繰越分配対象額	293	290	281	275	271	261

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月14日～2019年3月13日)

項 目	第120期～第125期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 37	% 0.830	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(18)	(0.402)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(18)	(0.402)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.085	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.076)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(0)	(0.007)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	41	0.915	
作成期間の平均基準価額は、4,472円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年9月14日～2019年3月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第120期～第125期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 2,610,469	千円 4,380,397	千口 4,805,382	千円 8,129,664

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2018年9月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年9月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年3月13日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第119期末		第125期末				
		口	数	口	数	評	価	額
			千口		千口			千円
LM・ブラジル国債マザーファンド			27,698,644		25,503,730			44,458,103

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年3月13日現在)

項	目	第125期末				
		評	価	額	比	率
			千円			%
LM・ブラジル国債マザーファンド			44,458,103			99.8
コール・ローン等、その他			101,281			0.2
投資信託財産総額			44,559,384			100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(50,441,475千円)の投資信託財産総額(51,153,641千円)に対する比率は98.6%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=111.29円、1ブラジルレアル=29.20円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末	第125期末
	2018年10月15日現在	2018年11月13日現在	2018年12月13日現在	2019年1月15日現在	2019年2月13日現在	2019年3月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	46,185,553,433	45,085,152,068	43,712,580,638	45,328,672,256	45,696,609,201	44,559,384,921
LM・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	45,834,484,331	44,909,193,311	43,640,453,968	45,262,241,102	45,610,575,286	44,458,103,296
未収入金	351,069,102	175,958,757	72,126,670	66,431,154	86,033,915	101,281,625
(B) 負債	772,064,878	579,399,554	472,023,558	483,285,418	495,063,384	505,868,429
未払収益分配金	356,641,889	341,833,428	339,186,047	351,054,541	348,494,229	346,556,273
未払解約金	351,069,102	175,958,757	72,126,670	66,431,154	86,033,915	101,281,625
未払信託報酬	63,578,798	60,911,309	60,062,329	65,094,598	59,853,180	57,434,234
その他未払費用	775,089	696,060	648,512	705,125	682,060	596,297
(C) 純資産総額(A-B)	45,413,488,555	44,505,752,514	43,240,557,080	44,845,386,838	45,201,545,817	44,053,516,492
元本	101,897,682,714	97,666,693,941	96,910,299,410	100,301,297,484	99,569,779,851	99,016,078,194
次期繰越損益金	△ 56,484,194,159	△53,160,941,427	△53,669,742,330	△ 55,455,910,646	△54,368,234,034	△54,962,561,702
(D) 受益権総口数	101,897,682,714口	97,666,693,941口	96,910,299,410口	100,301,297,484口	99,569,779,851口	99,016,078,194口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,457円	4,557円	4,462円	4,471円	4,540円	4,449円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

 当作成期首元本額 101,688,675,829円

 当作成期中追加設定元本額 9,903,867,360円

 当作成期中一部解約元本額 12,576,464,995円

(注2) 元本の欠損

 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は54,962,561,702円であります。

○損益の状況

項 目	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
	2018年9月14日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月13日	2018年11月14日～ 2018年12月13日	2018年12月14日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月13日	2019年2月14日～ 2019年3月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	5,225,441,330	1,376,690,554	△ 514,832,714	493,183,081	1,091,336,256	△ 488,941,005
売買益	5,314,216,310	1,442,007,598	11,180,589	524,697,738	1,122,972,493	6,017,026
売買損	△ 88,774,980	△ 65,317,044	△ 526,013,303	△ 31,514,657	△ 31,636,237	△ 494,958,031
(B) 信託報酬等	△ 64,353,887	△ 61,607,369	△ 60,710,841	△ 65,799,723	△ 60,535,240	△ 58,030,531
(C) 当期繰越損益金(A+B)	5,161,087,443	1,315,083,185	△ 575,543,555	427,383,358	1,030,801,016	△ 546,971,536
(D) 前期繰越損益金	△25,438,868,487	△19,645,637,956	△18,336,841,990	△19,013,988,656	△18,538,463,064	△17,537,394,033
(E) 追加信託差損益金	△35,849,771,226	△34,488,553,228	△34,418,170,738	△36,518,250,807	△36,512,077,757	△36,531,639,860
(配当等相当額)	(2,998,067,642)	(2,865,126,562)	(2,812,031,622)	(2,824,542,441)	(2,742,030,490)	(2,683,426,689)
(売買損益相当額)	(△38,847,838,868)	(△37,353,679,790)	(△37,230,202,360)	(△39,342,793,248)	(△39,254,108,247)	(△39,215,066,549)
(F) 計(C+D+E)	△56,127,552,270	△52,819,107,999	△53,330,556,283	△55,104,856,105	△54,019,739,805	△54,616,005,429
(G) 収益分配金	△ 356,641,889	△ 341,833,428	△ 339,186,047	△ 351,054,541	△ 348,494,229	△ 346,556,273
次期繰越損益金(F+G)	△56,484,194,159	△53,160,941,427	△53,669,742,330	△55,455,910,646	△54,368,234,034	△54,962,561,702
追加信託差損益金	△35,862,366,424	△34,520,781,351	△34,502,564,800	△36,587,715,400	△36,557,438,563	△36,631,607,686
(配当等相当額)	(2,998,244,178)	(2,833,977,855)	(2,729,041,449)	(2,762,174,948)	(2,698,431,369)	(2,585,009,271)
(売買損益相当額)	(△38,851,610,602)	(△37,354,759,206)	(△37,231,606,249)	(△39,349,890,348)	(△39,255,869,932)	(△39,216,616,957)
繰越損益金	△20,621,827,735	△18,640,160,076	△19,167,177,530	△18,868,195,246	△17,810,795,471	△18,330,954,016

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	344,046,691	309,605,305	254,791,985	281,589,948	303,133,423	246,588,447
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	3,001,839,376	2,866,205,978	2,813,435,511	2,831,639,541	2,743,792,175	2,684,977,097
(D) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	3,345,886,067	3,175,811,283	3,068,227,496	3,113,229,489	3,046,925,598	2,931,565,544
(1万円当たり収益分配対象額)	(328)	(325)	(316)	(310)	(306)	(296)
収益分配金	356,641,889	341,833,428	339,186,047	351,054,541	348,494,229	346,556,273
(1万円当たり収益分配金)	(35)	(35)	(35)	(35)	(35)	(35)

○分配金のお知らせ

	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
1万口当たり分配金(税込み)	35円	35円	35円	35円	35円	35円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手続き分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

LM・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第11期 決算日 2019年3月13日

(計算期間：2018年3月14日～2019年3月13日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第11期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 中 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率			
7期(2015年3月13日)	円 13,883		% △ 3.8	% 96.6	% —	百万円 88,496
8期(2016年3月14日)	12,677		△ 8.7	97.2	—	59,834
9期(2017年3月13日)	17,469		37.8	96.9	—	67,945
10期(2018年3月13日)	17,757		1.6	96.9	—	60,032
11期(2019年3月13日)	17,432		△ 1.8	97.0	—	51,018

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰	落 率			
(期 首) 2018年3月13日	円 17,757		% —	% 96.9	% —	% —
3月末	17,640		△ 0.7	97.1	—	—
4月末	17,347		△ 2.3	96.5	—	—
5月末	15,909		△10.4	95.6	—	—
6月末	15,584		△12.2	95.1	—	—
7月末	16,436		△ 7.4	98.9	—	—
8月末	14,668		△17.4	97.9	—	—
9月末	15,713		△11.5	97.4	—	—
10月末	17,439		△ 1.8	97.4	—	—
11月末	16,928		△ 4.7	95.8	—	—
12月末	16,696		△ 6.0	94.9	—	—
2019年1月末	17,496		△ 1.5	98.7	—	—
2月末	17,668		△ 0.5	97.8	—	—
(期 末) 2019年3月13日	17,432		△ 1.8	97.0	—	—

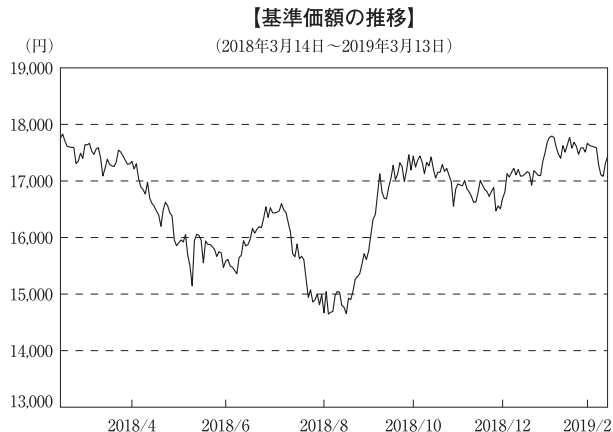
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年3月14日～2019年3月13日)



○基準価額の主な変動要因

当期のパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。為替損益が、ブラジルレアル安・円高を反映してマイナス寄与となりました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益についても、債券利回りが低下したことからプラスに寄与しました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、米中貿易摩擦懸念やブラジルの大統領選を巡る政局の混迷などから、利回りは上昇（価格は下落）しました。さらに、米国の金利上昇を背景に新興国からの資金流出懸念が高まったことや、ブラジル中央銀行（BCB）が2018年5月の金融政策委員会（COPOM）において、市場予想に反して利下げを見送ったことなどから、利回りは一段と上昇しました。

期の半ばは、トルコ情勢の悪化などを受け投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、ブラジル大統領選を巡り政局の混迷が深まったことなどから、利回りは上昇しました。しかし、その後、大統領選で市場参加者が支持するボルソナロ氏が勝利したことが好感され、ブラジル資産への選好が強まったことなどから、利回りは低下しました。

期の後半は、BCBが12月のCOPOMでインフレ見通しを下方修正し、ハト派的な姿勢を示したことを受け、利回りは低下しました。また、ボルソナロ政権による年金改革への期待感が高まったことも利回りの低下につながりました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、BCBが2018年3月のCOPOMで追加利下げの可能性を示唆したことや、大統領選を巡る不透明感などを背景に、リアル売り・円買いが優勢となりました。また、米国の金利上昇を受けて新興国からの資金流出懸念が高まったことも、リアル売りを強めました。

期の半ばは、トルコ情勢の悪化などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、大統領選を巡り政局の混迷が深まったことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後、新興国市場への過度な警戒感が後退したことや、大統領選でボルソナロ氏が勝利したことが好感され、リアル買い・円売りが優勢



となりました。

期の後半は、米中貿易摩擦への警戒感や世界的な株安などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、リアル安・円高となりました。しかし、その後、ブラジルの年金改革への期待感などから、リアル買い・円売りが優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年3月14日～2019年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 26 (26)	% 0.158 (0.158)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	26	0.158	
期中の平均基準価額は、16,627円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年3月14日～2019年3月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 934,132	千ブラジルリアル 954,499 (83,950)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年3月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年3月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	1,629,730	1,695,016	49,494,468	97.0	97.0	—	29.6	67.4
合 計	1,629,730	1,695,016	49,494,468	97.0	97.0	—	29.6	67.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
	国債証券					
	BLAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	87,300	85,500	2,496,617	2019/7/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	17,800	17,738	517,954	2019/4/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	137,000	132,346	3,864,529	2019/10/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	899,930	942,188	27,511,913	2021/1/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	487,700	517,241	15,103,453	2023/1/1
合 計					49,494,468	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	49,494,468	96.8
コール・ローン等、その他	1,659,173	3.2
投資信託財産総額	51,153,641	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(50,441,475千円)の投資信託財産総額(51,153,641千円)に対する比率は98.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=111.29円、1ブラジルレアル=29.20円です。

○特定資産の価格等の調査

(2018年3月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	51,312,411,079
コール・ローン等	749,509,682
公社債(評価額)	49,494,468,013
未収入金	305,535,333
未収利息	736,828,142
前払費用	26,069,909
(B) 負債	294,051,489
未払金	159,130,400
未払解約金	134,918,993
未払利息	2,096
(C) 純資産総額(A-B)	51,018,359,590
元本	29,266,666,535
次期繰越損益金	21,751,693,055
(D) 受益権総口数	29,266,666,535口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,432円

<注記事項>

- (注1) 元本の状況
- | | |
|-----------|-----------------|
| 期首元本額 | 33,807,073,092円 |
| 期中追加設定元本額 | 6,694,279,122円 |
| 期中一部解約元本額 | 11,234,685,679円 |
- (注2) 期末における元本の内訳
- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型) | 25,503,730,666円 |
| LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型) | 2,125,818,538円 |
| LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用) | 1,636,328,353円 |
| LM・ブラジル国債ファンド(適格機関投資家専用) | 788,978円 |

○損益の状況 (2018年3月14日～2019年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,569,982,242
受取利息	4,570,448,874
支払利息	△ 466,632
(B) 有価証券売買損益	△ 5,627,011,623
売買益	567,741,675
売買損	△ 6,194,753,298
(C) 保管費用等	△ 81,463,486
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,138,492,867
(E) 前期繰越損益金	26,225,031,934
(F) 追加信託差損益金	4,227,072,851
(G) 解約差損益金	△ 7,561,918,863
(H) 計(D+E+F+G)	21,751,693,055
次期繰越損益金(H)	21,751,693,055

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。